

江戸川区における気象変動に適応した治水対策について

【中間とりまとめ】検討資料より

「・・・治水対策検討委員会」2009年4月発表

3-2 スーパー堤防の効率的整備の推進

ゼロメートル都市・江戸川区におけるスーパー堤防の整備は、超過洪水対策・高潮対策・高台避難地の確保など、気候変動にも適応する抜本的な治水対策であるとともに、地震時における浸水対策並びに市街地の環境改善・防災性の向上などに大きく寄与するものである。したがって、市街地環境改善の必要な地域の優先整備、あるいは、公園・学校等の公共施設の防災コアとしての整備等、地域の課題解消を図るまちづくりと合わせ積極的に整備を推進すべきである。

これらスーパー堤防整備の推進にあたっては、その必要性について区民・都民ひいては国民の理解のもとで、関係する地区の住民の合意形成を図っていくことが不可欠であり、そのための努力を継続的に進めていくべきである。

表9 スーパー堤防の計画概要

スーパー堤防		規模		整備事業費		
		延長 (km)	面積 (ha)	堤防事業 (億円)	まちづくり (億円)	事業費計 (億円)
高規格堤防	荒川右岸	4.8	144	4248	2203	6451
	中川左岸(荒川左岸)	8.5	195	5767	2991	8758
	江戸川右岸	6.5	130	3835	1989	5824
	小計	19.8	469	13850	7183	21033
補助スーパー堤防	旧江戸川右岸	9.5	48	1401	727	2128
	新中川右岸	7.5	37	1107	574	1681
	新中川左岸	7.5	37	1107	574	1681
	小計	24.5	122	3615	1875	5490
合計		44.3	591	17465	9058	26523
海岸堤	海岸部	葛西沖開発土地区画整理事業、葛西臨海公園整備等によって高規格堤防並の機能を有する高台化・堤防整備がすでになされている。				

※規模・整備事業費とも、想定試算値

表9は、江戸川区のスーパー堤防（高規格堤防・補助スーパー堤防）の計画概要であるが、これらの整備に関しては以下の課題がある。

- ア.【事業費に関する課題】総事業費として約2兆7千億円が必要であり、特に「まちづくり事業費」として約9千億円が必要となることから、区として膨大な財政負担となる。
- イ.【時間に関する課題】整備にあたっては、調整に要する期間・区の街づくり事業費確保から勘案して、200年前後という長期間がかかるものと想定される。(江戸川区における1年間の区画整理事業費は約50億円であることから試算)
- ウ.【住民合意の課題】計画範囲には、およそ4万世帯9万人の住民が居住していると想定されるが、住民の合意を得なければ進まない事業であることから、合意形成には時間を要する可能性がある。(区の平均世帯・人口密度から推計)

「利根川・江戸川河川整備計画(原案)」に対する意見の要旨と資料

【意見】

55頁の表5-8「高規格堤防に係る施行の区間」の『高規格堤防事業』に関する部分について、「削除」することを求める。

(1) 東京都江戸川区平井7丁目地区高規格堤防についての問題点を指摘する。

・問題点の第1、川に面して「点」でしかない堤防が造られることでどれほどの超過洪水対策になるのか？

・問題点の第2、莫大にかかる事業費。こんな未完成な堤防でさえ1mあたりおよそ5千5百万円かけられている。

・問題点の第3、40%を越える住民は戻ってこれない、「密集市街地」の人々の暮らしと町を破壊する事業。

(2) 2009年4月、「江戸川区における気候変動に適応した治水対策検討委員会」による『中間とりまとめ』検討資料49頁(公聴会への「配布資料」)にそつての検討

・資料の表9と三つの課題について。

ア、「総事業費に関する課題」江戸川区内の高規格堤防をつくるために必要とする費用は、「1m」あたり、1億円。

イ、「時間に関する課題」200年400年という見通しは、全く完成の見通しなどもててはいないということ。

ウ、「住民合意の課題」合意のないままに進み、「事業の取り消しの裁判」となつてさえている。

(3) 今すすんでる具体的事業の実態。

・北小岩一丁目地区高規格堤防事業＝目に余る先行買収と住民への立ち退き、既に20%。

・「土地区画整理事業」の総事業費は、約43億円さらに・・・

・住民の多くは、盛土の上にくらすごは望んでいない。

はじめに事業ありきですすめられる地元行政の街づくりと一体の高規格堤防事業は、江戸川区の江戸川沿川の「北小岩一丁目地区」を始め、「篠崎公園地区」に於いても地元江戸川区の街づくりが先行する形で、冒頭で明らかにした平井七丁目高規格堤防事業と同様に、まちの破壊が進行しています。

私は、平井の高規格堤防事業を振り返り、また、江戸川区の「気候変動に適応した治水対策委員会での検討」をご紹介します陳述してまいりました。

私は、陳述の結論として、「江戸川・利根川河川整備計画(原案)」から、超過洪水対策としての高規格堤防に係るすべてを削除されるよう国土交通省に強く求め、意見の陳述を終わる。